

校長室通信



阿蘇西小学校 校長だより No.5

令和6年6月25日

文責 田上邦宏

6月は「心のきずなを深める月間」です。

本県では、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、学校・家庭・地域が連携し、児童同士だけでなく、児童と教職員、保護者や地域住民等との「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点を置いた取組を実施しています。

近年「いじめ」は、全国的な問題として、ニュース等でもよく取り上げられています。昨年11月～12月に実施された「熊本県公立学校心のアンケート（県内全ての公立小・中・高等学校、特別支援学校の児童生徒が対象）」で、小学生は17.4%に当たる13,260人が「今の学年でいじめられたことがある」と回答しました（学年別割合を見ると低学年の割合が高い結果）。また、「いじめられたことを誰かに話したか」の問いには、30%程度が「誰にも話をしていない」と回答しました。

本校でも、アンケート等の実施による現状の把握や、各学級では学級活動や道徳科の時間を中心に人権学習や、相談することの大切さについて理解を深める学習などに取り組んでいます。そして何より、先生方が子供たちと向き合うことのできる時間の確保に努めているところです。4日（火）の全校集会では、「いじめを許さない学校・学級」を目指すため、学校教育目標の「笑顔いっぱい」や各クラスの学級目標のキーワードを取り上げ、その実現に向けてみんなで話し合い、取り組んでほしいことを伝えました。また、子供たちが考えるきっかけとして「わたしはあかねこ」という絵本を紹介しました。

ご家庭においても、引き続き、子供自身が「自分は大切にされている」「自分は友だちや身の回りの人の役に立っている」というプラスの感覚を感じるような言葉かけをしたり、子供と一緒に自然体験やスポーツ活動、ボランティア活動等をしたりするなど、感動を共有できる機会をつくっていただければと思います。また、子供のSOSを受信された場合は担任にも情報提供をしていただけると、早期対応につながります。どうぞよろしくお願いいたします。

6月 全校集会（ぜんこうしゅうかい）



全校集会で使用したプレゼンスライドの一部

14日（金）は「なかよし交流会」でした！

阿蘇郡市内の各学校の特別支援学級に在籍する子供たちが集まって、お互いに交流したり、学習の成果を発揮したりする「なかよし交流会」が、14日（金）に阿蘇市体育館で行われました。

他校の子供たちとのチーム編成や自己紹介ではやや緊張気味でしたが、競技のボッチャが始まると、練習の成果もあってか、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白い球を狙って真剣に取り組む姿や同じ班の友達と会話する姿などを多く見ることができました。今回の交流会での学びや出会いを、今後の自信や活動の広がりにつなげてくれたらと思います。



水泳学習を行うに当たっての健康観察カードの記入について

最近少し雨天が多く、プールからの子供たちの元気な声が聞こえませんが、今年度も短期間ですが、水泳学習を行っています。水泳学習に関しては、特に命に関わる学習であることも考慮し、子供たちの健康状況を詳細に把握するため、健康観察カードの記入・提出をお願いしているところです。6月4日付けのプリント「水泳の学習を始めるにあたって」や学級通信等でもお伝えしている通り、記入漏れや保護者の方の押印もしくはサインがない場合は、「水泳の授業参加を見合わせる」と判断しますので、お忙しい中ですが、記入漏れ・押印（サイン）漏れがないように、ご理解とご協力をお願いします。